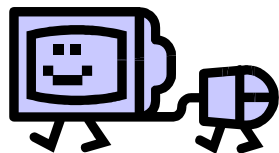


東北大学のコンテンツ収集方針

国立情報学研究所平成17年度CSI委託事業報告交流会



東北大学附属図書館
学術情報発信WG
佐藤初美

平成17年度の計画

- 各種コンテンツのうちレア・コンテンツを核とした電子化及びメタデータ作成

本学研究者の研究成果のみならず、本学図書館が所蔵する特色あるレア・コレクションの収集・電子化・組織化を行い、世界的に貴重で有用なコンテンツを発信する。具体的には以下のコンテンツ作成を優先的に行う。

研究成果:理工系を主体とした学位論文、紀要論文、学会発表論文等
レア・コレクション:江戸期以前の古典籍・古地図、漱石文庫等

- 大学情報データベース(大学DB)等との連携調査

大学が進めている関連データベースとの連携について、方法、作業時期、内容などについて関連部局と調整し、来年度以降の具体的な作業に向けて必要なシステムなどの各種調査及び開発を行う。

実施内容

- 各種コンテンツのうちレア・コンテンツを核とした電子化及びメタデータ作成

研究成果:理工系を主体とした学位論文要旨集の電子化
35,000ページ(6,307件)

レア・コレクション:江戸期以前の古典籍・古地図の電子化
古典籍10点、古地図42点
狩野文庫の絵はがきコレクション電子化
9,300枚

- 作業用機材の購入

学位論文の例

論文内容要旨

一 緒 論

反芻動物は草食動物であつて主として草を摂取するルロースであるが反芻動物はセルロースを分解する酵素を分泌して之を摂取し高に動物自体に対して物によつてセルロースを摂取できる部に応分分解するという容積の膨大な飼料の貯蔵能力を有し、このセルロースを Acetate, Propionate, Butyrate として消化する。その第一胃内の低酸環境での産生は、一日平均乳牛で 1000 g 以上の低酸脂肪酸が動物の栄養生理上の特質である。即ち反芻動物の主要成分であるセルロースを反芻動物にとつて利用しそれを反芻動物がよく吸収して効果的に体利用し産生を上げることは出来ないわけである。しかし、産量及びその代謝経路が異なることは言うまでもない量の低酸脂肪酸がその後反芻動物体内で如何なるものである。筆者の研究目的はこの点にあり、低酸脂肪酸点にあるが、この点に關して全体的な面では、Ca 家及び木野の梅津、植村、古坂、津田、柴田、

審査結果要旨

反芻動物のルーメン内に於て大量の低酸脂肪酸が産生するが、この栄養生理的実用を行う為には各飼料中にルーメン上点を加え、その好氣的代謝を研究し、次項の事実を明らかにした。

1. 反芻動物に於ては各飼料成分は Acetate, Propionate, Butyrate 等の低酸脂肪酸をよく利用することを詳細に証明した。
2. 乳類組織ではダイオキソキシミの乳糖は Glucose の糖化を行うが低酸脂肪酸の糖化は少ない。これに反し反芻動物ではその乳糖成分は Acetate, Propionate, Butyrate の三者をよく利用し Glucose を添加することにより利用率は高まる。但し Glucose 単独ではよく利用しない。乳糖成分に於ける高利用率に動物により差があり反芻乳用動物では第一胃内酸環境である低酸脂肪酸がよく利用される点は興味がある事実であり、Folley が糖酸について行つた実験を追試したに止らず糖酸、プロピオン酸及び三者相互の關係について行つた瀬戸の実験成績は非常に貴重である。
3. ルーメン上点結核はケトン体の産生部位であることを発見し in vivo 及 in vitro の実験により証明した。従来哺乳動物のケトン産生部位は肝臓であり、それ以外ではないとの意見を覆した。
4. ルーメン上点結核には Acetoacetate decarboxylase が存在することを標本作製により証明した。標本作製上の注意は万全であると認め、従来哺乳動物組織に於て当該酵素は発見されていなかったこの発見は重大な意義をもつている。
5. ルーメン上点結核に於ける低酸脂肪酸の代謝経路につきそのケトン産生の経路及び

絵八ガキの例



古典資料の例



その他

■ 機関リポジトリをテーマとした総合研修会の実施

平成17年度図書館職員総合研修会において、「機関リポジトリ」をテーマとしNIIを含む外部から講師を招聘し講演会を開催した。これには東北地区の他館からも多数の参加を得た。

■ システム説明会の実施

平成18年2月2日に「DSpace」のパッケージ販売元であるソラン株式会社とヒューレットパッカードから業者を招き、東北地区の他館にも呼びかけて合同説明会を開催した。

平成18年度の予定

- システムの導入
- 学内体制の確立
- コンテンツの拡充

東北大学の特色が打ち出せるコンテンツ



機関リポジトリとしての方向を大学として定める